

温水洗浄便座を長くお使いいただいているお客さまへ

温水洗浄便座・暖房便座を安全に使う3つのポイント

- 1 まず自分で点検を ▶ 『セルフ安全チェック』の詳細は以下のホームページをご参照ください。
URL http://www.sanitary-net.com/comfort/documents/keihatsu2008_000.pdf
- 2 異常があれば販売店、工事店またはメーカーにご連絡を
- 3 節目には点検と買い替えを

異常に気づいたら、すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めて使用を中止し販売店、工事店またはメーカーに連絡してください。そのままの使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**となります。温水洗浄便座・暖房便座にも寿命があります。安心してご使用いただくため、定期的な点検をおすすめします。長期間お使いの製品は点検・買い替えをご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。



有料点検・有料修理の料金構成

●料金は次の4つの項目で構成されています。

料金構成		有料点検	有料修理
1出張料	お客さまのご要望により、技術者を派遣する場合の費用(出張料)や、有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。	○	○
2技術料	製品点検や故障の製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費などが含まれています。	○	○
3部品代	修理に使用した部品代金です。修理に付帯する部材を含む場合もあります。		○
4その他の料金	その他の料金として、出張料、技術料、部品代以外の特別な費用をいただく場合があります。		
	指 定 料 お客さまの都合で修理日や修理時間を定めて修理するために、修理技術者を拘束しておくための費用。 別途費用 修理時に必要な副資材の費用(部材料)、修理品の梱包費用(荷造料)、修理品をお届け、又は引取りに要する費用(運送料)などです。		○

「有料点検」「有料修理」についての詳細は各メーカーのお問い合わせ窓口へご相談ください。

低温やけどにご注意

便座に長時間皮膚が触れていると、**低温やけどの原因**になります。また、温風乾燥を同じ場所に長く当てていると**やけどの原因**になります。特に、以下のような方が使用されるときは、まわりの方が温度調節などに注意してあげてください。

注意が必要な方の例

- お子さま
- 疲労の激しい方
- 自分で温度調節が出来ない方
- お年寄の方
- 皮膚の弱い方
- 眠気を誘う薬(風邪薬、睡眠薬)を服用された方
- 深酒された方
- 皮膚感覚が弱い方

温水洗浄便座を長く安全に使うコツ



温水洗浄便座や暖房便座も電気製品だから、お手入れは大事だよね!



発行元 **温水洗浄便座協議会** 〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18
<http://www.sanitary-net.com/>

☎ 0120-39-7718
 受付時間 平日9:00~17:00

後援 経済産業省 協賛 (社)リビングアメニティ協会 日本衛生設備機器工業会

実は…温水洗浄便座は日頃から 洗剤や尿などの影響を受けやすい 過酷な環境で使用されているんです



実はあまり知られていない!? 間違った洗剤の使い方

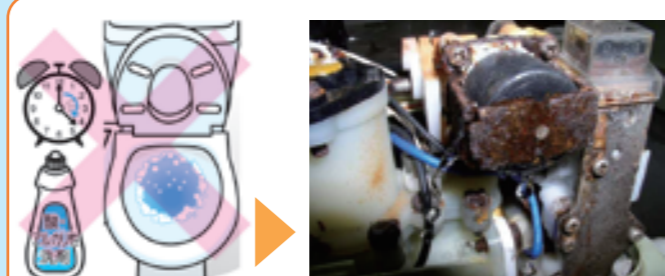
洗剤の選択ミスや誤った使い方、便器鉢内に洗剤を放置することは腐食・劣化につながり感電、火災の原因となります。

※使用できる洗剤でも直接かけてしまうと発煙・発火などの原因となります。

プラスチック部分に使用してはいけない洗剤



クレンザー 研磨剤入り洗剤 酸・アルカリ性洗剤 ベンジンシンナー



つけ置き洗い 部品が腐食

ニオイの原因は、日頃見えない部分に隠れていました

トイレは使用するたびに、尿や洗浄水が飛び散っています！
特に温水洗浄便座と便器の間にたまった尿はニオイの原因となります。



便器本体の上面



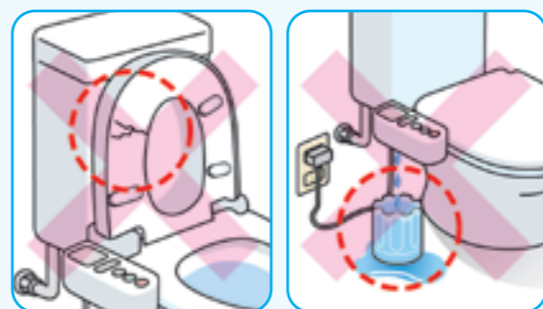
温水洗浄便座の裏面

尿などの
汚れ



調子は悪くありませんか？故障を放置していませんか？

故障したまま温水洗浄便座を使い続けると、火災や感電・室内浸水の原因となります。異常に気づいたら速やかに電源プラグを抜いて、ご使用を中止してください。



1日でも長く安全に お使いいただくコツとは…



洗剤の正しい使い方を実践しましょう

お掃除をするときは、以下の点に注意しましょう。

プラスチック部分（温水洗浄便座部分）

専用クリーナーや薄めた中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き、更に水拭きをしてください。



陶器部分（便器の内側部分）

便器用洗剤は、便器内のつけ置き使用をせず、3分以内に洗い流しましょう。



※各メーカー毎の取扱説明書に記載された洗剤をお使いください。

見えないところも定期的にお掃除しましょう

お掃除方法は各メーカー毎の取扱説明書に記載されている手順を参考に、定期的の実施しましょう！特に便器と温水洗浄便座の隙間のお手入れが効果的です。またノズル部のお掃除も実践しましょう。

着脱式機能を搭載している温水洗浄便座のお掃除

- ① 便座サイドにある、便座着脱ボタンを押しながら便座本体を手前に引いて外します。レバーの場合は引いてください。
- ② よく絞った柔らかい布で黄ばんだ汚れを拭き取ります。
※着脱式以外の温水洗浄便座をお使いの方には、専門のメンテナンスをオススメします。



ノズルのお掃除

- ① 柔らかいスポンジや布などに水を含ませます。
- ② ノズルを軽く拭きます。
- ③ 最後はノズルを収納し、便フタ、便座を閉めます。



事故を防ぐためにまずはセルフ安全チェックをしましょう

▶ セルフ安全チェックリストは以下のサイトからご覧いただけます。
<http://www.sanitary-net.com/index.html>

トイレナビ

検索

温水洗浄便座セルフ安全チェックリスト▶

修理はいつまで可能？
温水洗浄便座補修用性能部品保有年数 製造終了後**6年** ※各メーカーによって異なります。

温水洗浄便座の買い替えのご検討時期は？
使用を始めてから**10年**

セルフ安全チェックの結果、不具合が発見された場合は、早期に各メーカーにお問い合わせください。

